

第 48 回 那覇市社会福祉大会記念講演での会場からの感想と、質問への回答

(2024.10.11 開催。回答の HP 公開日は 10.23)

①地域で発言力のある方が環境の変化に反対している場合、納得して頂いた事例があれば、参考までに取り組んだ事を教えてください。

(講演中に回答済) 地域で発言力がある方は実績や成功体験を持たれているので、その方の考え方をを変えるのは難しいと思います。地域としての課題意識や目指したい地域の姿を共有した上で、取り組む意思がある人が勝手にやるので、協力はしなくていいので、邪魔や反対だけしないようにお願いする形がいいかと思います。(回答者：奥河)

②まちなね浜甲子園には民生委員児童委員はいますか？高齢者との関わりもありますか？

(講演中に回答済) 民生委員児童委員を選任するように自治体(西宮市)から求められていますが、地域団体が推薦するという形はまちなね浜甲子園の考え方に合わないため、不在のエリアになっています。民生委員の意義は共感するものの旧来型の慣例が多く担い手になってもらうことは、適していないように感じます。本質的な民生委員の取組みが地域で抜け落ちないように、市役所や社会福祉協議会、地域包括支援センターと定期的にミーティングの場を設けて課題や取組の共有を行っています。(奥河)

③地域によく関わっている人や、地域への熱い思いを持っている人ほど、負担を抱え安くなってしまうと思うが、負担を軽減するためのケアやフォローはどうしているか？

ケアやフォローは全員が意識して、声かけをしています。定期的に面談(会話)の時間を設け、楽しいことは何か？きついことはないか？しっかりスタッフと向き合う時間を設け、溜め込まないように心がけています。あと日報をラインで送り、スタッフ全員で毎日の状況がわかるようにしていて、小さな悩み、問題ごとは日報で発見解決することもあります。(井川)

やりたい人がやりたいことを都度企画するので、負担が増えるようであれば、関わりを減らすという考え方です。関わる人のモチベーションを把握するためのコミュニケーションは大事にしています。(奥河)

④有償ボランティアに高齢者宅のゴミ出し手伝いや買い物の手伝いなどへは対応していないのか？ニーズがないのか？

そのようなニーズは実際にあり、対応する活動として、近隣エリアでワンコインお手伝い「まちなねよろず屋」が活動しているため、そのサポートする側で連携協力しています。当団体の有償ボランティアとしては実施していません。(井川・奥河)

⑤トム・クルーズ仲程さん頑張ってー。質問ではないですが、10/27に今回の視察報告もかねて今後の那覇市の地域づくりについての校区まち協意見交換会あるのでみなさんぜひと案内可能でしたらアナウンスよろしくです。帰りにチラシ配りますね。

講演中に回答済

⑥これまで一番印象深かった企画はありますか？

コロナ禍で実施した「まちスポ」小さな運動会を近所の公園で行いました。コロナ禍でかなりの制限があるなか、今でこそ人と人を繋げるのを止めたらあかん！とスタッフ全員でできる形を模索し行いました。コロナ禍にも関わらず、運動会などができていなかった小学生幼稚園児を中心に40~50世帯の親子が参加しました。あの時に何もかも中止せずに、やってよかったな〜と今も感じます。(井川)

初めて実施したウェルカムパーティ(入居後1年以内の人しか参加できない交流会)は、印象に残っています。人が来てくれるのかドキドキしましたが、大勢の方が参加してくれ、バラバラに来た人たちが一緒に帰っていく様子を見れたのはとても印象深かったです。その時に参加してくれた人たちの中に、現在も中心に関わってくれる人がたくさんいるので、最初の印象はとても大事だと感じさせられます。(奥河)

⑦辛い時が、ありますか？その時の解決方法は？

よく顔を合わせていた人が、病気などで来れなくなったことなどを聞くと辛い。カフェは、交流拠点だけど収入源でもあるので、売り上げが少ない時は辛いです。売り上げのために工夫努力も必要だと感じます。何事も一人では解決しないことが大半なので、スタッフと思いを共有し一緒に解決に向かっています。(井川)

年齢差や立場の差を使って、論理的でない罵倒や侮辱を経験することです。やる気のある担い手がそういう人たちの被害にあわないように、距離を取るようになっています。(奥河)

⑧地域住民が繋がることで、犯罪が減りそうな気がします、どうなのでしょう？

子ども食堂を運営していますが、親ご参加の機会があればという声はまだまだないですが
きっかけ作りはどうすればいいと思いますか。

犯罪が減るとは限りませんが、住む住民としては安心なのではと思います。子ども食堂も
いろんな形があるかと思います。きっかけも1人1人の声かけから、子どもが子どもを
誘って・・・なんてこともたくさんあるかと思います。なくては困る人がいる食堂になれば
素敵ですね。(井川)

地域住民がつながることで、地域で関わる人に興味が湧き、互いに見守る意識が生まれる
と感じます。また地域に愛着ができ、地域をきれいに保つことや、変化に気づけること
が、結果的に犯罪減につながる気がします。親に対しては、単発の参加だけではなく、実
施側の思いをちゃんと伝えて共感を得ることが継続的なかわりにつなげることが大事
だと思います。(奥河)

⑨大変、参考になりました！無償ボランティアとしての民生委員、児童委員は、どのような
役割で活動しているか？教えてください！いるか？

民生委員、児童委員は設置していません。関係者がしっかり情報共有できていれば、現時
点で特に必要性を感じておりません。(奥河)

⑩井川さんへ質問 行動する時のゴールはどんな風に設定しますか？事例があれば教えてほし
いです「寄り添う」がとても大事なポイントかなと感じました。奥河さんが井川さんに寄り
添い、井川さんが住民に寄り添う。「寄り添う」時に大事にしている事はありますか？

講演中に回答済

⑪出会った人との会話の中で、共有できるツールについて教えてください。記録用紙がある
のでしょうか

私たちスタッフは、ラインワークスというツールを使って、毎日勤務後全員が日報を送信
します。どんな人とこんな会話した。そんな簡単な内容です。メモみたいな・・・流し読み
程度でみんな既読し「そういえばあの時来た人だな」と思い出し日報を確認することは多
くあります。すぐおすすめですよ！(井川)

⑫高齢者向けの企画で盛り上がった物をいくつか教えてほしいです

仕事を引退してそれまで地域活動に関わっていなかった人が、既存の地域活動に加わろ
うとしたところ、うまく人間関係が合わず相談に来て、その方がやりたい集まる場を立ち
上げました。既存の地域活動に合わなかった人や、引越してきたシニア層の集まる受け皿
になっていて、皆さん楽しそうに過ごしています。(奥河)

⑬奥河さんへ 上手くいった地域づくりで羨ましく思います。自治会がなく、集まる場所に苦慮しています。奥河さんならどのように考えますか？

我々のプロジェクトでも使用できる拠点がない場合もあります。その場合は、様々なイベントを重ねつつ、その前後のコミュニケーションで、会話できる人を増やしていき、顔が見えて、声を掛け合う人が増えていく状況をつくっていきます。(奥河)

⑭声をかける事に恥ずかしさもあるのですが、それはどのようにクリアできますか？

最初は私もどう声かけしたらいいかすごく悩みました。徐々になれてきて話せるようになりましたが、最初は話さなきゃ！とは思わず、「いい天気ですね。歩いて来られたのですか？」など「挨拶＋疑問系」で一言目アプローチしてみてください。

歩きできた＝近所お住まい、車できた＝遠くから来たことがわかります。車でわざわざ来たなら、なんでここを知ったのですか？など会話がどんどん広がります。恥ずかしさは、きっと慣れるとなくなりますよ。(井川)

声をかけるフレーズを3～5つくらい決めておいて、そのタイミングやトーンなどを少しずつ変えながら、どうやったら会話がうまくできるだろうかと、回数を重ねて少しずつコツをつかんでいく感じがいいと思います。後は誰とどんな話をしたのかをメモしたりスタッフ同士で共有することも大切だと思います。(奥河)

⑮井川さんへ質問 スタッフとして働いていて、印象に特に残っているプロジェクトや住民とのやりとりはありますか？1番高かった壁を教えてください。

講演中に回答済

⑯奥河さんへの質問 小学校区における有償スタッフ（コーディネーターや事務局）の必要人数は何人ぐらいでしょうか？ボランティアの限界や、自主財源確保の企画の考え方を教えてほしいです。

エリアにおける有償スタッフの人数という考え方はしていません。拠点に常駐してコミュニケーションを取り企画に繋げるスタッフの件数と、確保できる財源と照らし合わせて、配置できる有償スタッフの人数が見えてくる感じでしょうか。

やりたい活動をやる人、興味関心ごとに関わる活動をする人は、基本的に無償という考え方はです。有償スタッフは事業を企画・推進する人ではなく、事業を企画・推進する市民にその環境を提供する人という考え方はです。

自主財源は非常に難しいです。儲かる事業は民間事業者が参入しているので存在しないと思っています。地域の空き時間、空きスペース、手があがいている人の組み合わせにより、地域のためになりながら、収入に繋がりたいと常に考えているという感じです。(奥河)

⑰カフェの取り組みで、普通のカフェとの1番の違いはなんですか？コミュニティならではの取り組みや仕掛けがあれば教えてください

お食事中や、お食事終わりに「お口に合いましたか？」など声かけすることを意識しています。美味しい定食が食べれる店だけでなく「〇〇さんいらっしゃい～」みたいなアットホームなカフェを目指しています。近所の住民さんの声をたくさん反映するところも、普通のカフェとは違う所かもしれませんね。(井川)

⑱うまくいかなかったこと。苦労したことはありましたか？

うまくいかなかったことや苦労はたくさんあります。ですが、うまくいかなかったな～で終わるのではなく、うまくいかなかった部分はどこかを追求し、改善し、絶対成功談に持っていきます(笑)なので正直あまり思い浮かばないです・・・(井川)

(感想 一部抜粋)

登壇者の皆様、今日は、ありがとうございました、質問ではなく、感想です、HITOTOWAさんの、取り組んでいることの素晴らしさを、感じました、私は、今、まちづくり協議会や民生委員で地域を良くするために活動していますが、あくまでも仕事をしている中での活動なので、ボランティアとして関わりが多く動ける範囲も決まっています。HITOTOWAさんのように、一般社団法人を立ち上げて、雇用し仕事として活動することは、地域で何かをしたいと思っている人達には、とっても魅力的だと思いました。

聞きやすく、分かりやすかった。講演良かった。(複数回答あり)

基調講演が新しい地域モデルのお話ではありましたが、まちづくりの人との関わりへの参考になるお話もありよかったです。

講演内容が分かりやすかったのですが、実行するのは少し難しいと思いますただ小さな事から少単位事から始める事は大切だと痛感させられました。

民児協として、アイデアを活用したいと思いました！

阪神甲子園のエリアで那覇市の人口の1.5倍も抱えている西宮市の活動。素晴らしいです！色々な団体、工業、店舗から協力を頂くのも大変でしたでしょうね。目から鱗の活動状況、きめ細やかな配慮に視野が広がりました。ありがとうございました。

これまでの講演会では、講師が一方的にお話しされていましたが、今回は、会場からの質問を取り入れて、一体感があり、とても良い講演会でした。

講演会では素晴らしい内容に夢中になるくらい良かったです。